

## 岐阜県立可児工業高等学校

学 校 長 片岡 基靖

学校住所 可児市中恵土 2358-1 電話 0574-62-1185

1 会 議 名 岐阜県立可児工業高等学校運営協議会 (第2回)

2 開催日時 令和2年10月16日(金)

3 開催場所 岐阜県立可児工業高等学校 会議室

#### 4 参加者

委 員 会 長 : 大杉 守平 可児市中恵土自治連合会長

副会長: 續木 保征 可児市下恵土自治連合会会長

花村 誠司 可児市立図書館長

問屋 裕子 P T A役員

渡辺 恒代 元P T A役員

今井 真実 元P T A役員

学 校 側 片岡 基靖 校長

加藤 信男 教頭

水野 茂之 教務主任

柴田 純孝 生徒指導主事

林 貴康 進路指導主事

安藤 達矢 工業教育部長

平野 隆英 化学技術科主任(地域の担い手事業担当)

※7名委員中6名のご出席をいただき、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則第8条3項」の規定により本会は成立した。

#### 5 会議の概要(協議事項)

- ① 開会のことば
- ② 校長挨拶
- ③ 学校運営協議会について

- ④ 学校運営協議会 会長及び副会長選出
- ⑤ 出席者紹介
- ⑥ 学校見学（課題研究の参観）
- ⑦ 本年度の取組状況報告
  - 学習指導について（教務主任）
  - 生徒指導について（生徒指導主事）
  - 進路指導について（進路指導主事）
  - 工業教育部の取り組みについて（工業教育部長）
  - 教員の働き方改革及びアンケート結果について（教頭）
- ⑧ 協議

<委員からいただいた意見>

- 意見1： 授業参観で座学を参観したことはあるが、初めて実習や課題研究を参観した。生徒の学びの様子を目の当たりにしてとても感動した。保護者の授業参観の機会には、実習の見学を通して本校の目指す教育を知っていただくようにするとよい。生徒たちが頑張った成果を見られる2月12日の課題研究発表会が楽しみである。
- 意見2： 生徒たちの姿を見せていただき、自分の子供が在籍していた頃よりも工作機械など最新の設備が導入されていた。生徒が在学中に最新の機器に触れて社会に出られるとよいと思っていたので、とても喜ばしいことであると思った。これからも、最新の設備を導入していただきたい。工業高校の生徒の様子がとてもよくわかり、本校をよく知っていただくためにも、このような機会を今後も設けてほしい。
- 意見3： 生徒が楽しく学校生活を送っている姿を拝見した。怪我が無いように安全への意識づけの指導をお願いしたい。
- 意見4： 市内での就職率アップを目標としている。本校生徒の今年度の可見市内での就職希望者は24%を占めている。地域の担い手育成の観点から、昨年度の20%以下に比べて数値が上がったことはよいことである。
- 意見5： 求人状況が前年とあまり変わらない中、教員の努力と、卒業生の頑張りのおかげで、就職・進学ともに良い成果をあげている。学校が人材育成に力を入れてきた結果であると思う。これからも引き続きお願いしたい。
- 意見6： 生徒の姿を直に拝見し、頼もしく感じた。我々の仕事と連携できることがあれば是非協力したい。

意見7： コロナ禍での対応として、ネットワークの充実やタブレット又はスマホなど情報端末の利用が挙げられるが、家庭の通信環境に配慮して進めていただきたい。

意見8： 地域のイベントで毎年本校生徒に協力していただいているが、今年はコロナ禍の影響で実施できなかった。来年は実施したいと考えているので協力をお願いしたい。

工業高校ならではの、苦勞して形あるものを作り、出来上がった時の喜びに生徒が目をはなせていたと感じた。学校の楽しさ、工業高校の楽しさを実感している生徒を目の当たりにして大変感動した。これからも安全で楽しい生活を送ってほしい。

#### <協議会まとめ>

コロナ禍で、今まで当たり前できていたことができなくなった中でも、本校は様々な取組や工夫をしている。高い求人倍率から、本校が地元から期待されていることを自覚し、その期待に応えるために日々の教育活動を実践している。

課題研究のドローン为例に挙げると、研究内容は「ドローンで測定すること」ではなく、実際に中学校からの依頼を受けて測定を行い、生きたデータを使用して学びを広げている。ただ単に自分たちが作りたいものを作るのではなく、依頼主とのコミュニケーションを通して依頼主の思いに寄り添い、制作物を使う人のことを考えて作るよう指導しており、学習指導要領における知識・技能、思考力・判断力・表現力が身につく内容であるとともに、自分たちの取組が社会に貢献していると実感できる深い学びのそのものである。

教育の環境が大きく変わろうとしている中で、地元の産業界のニーズに基づいた工業教育を進めていくために、外部の方のお力添えをお願いしたい。実践を通じて「生徒にこのような力がついた」ではなく、地域と連携して「生徒にこういう力をつけたい」という目標を地元と共有し、大切にしていきたいと考えている。

今回の会議では、委員の皆様にも更なる熟議をお願いしたい。